

---

---

2014年3月期 第2四半期（累計）

（2013年4月1日～2013年9月30日）

# 決算参考資料

---

---

2013年11月12日

（株）サガミチェーン

東証・名証1部上場 コード:9900

設立：1970年3月

資本金：63億300万円

株式会社サガミチェーン

## 目 次

1. 連結対象企業の事業内容	_____	P2
2. 2014年3月期第2四半期（累計） の業績概況	_____	P3
3. 財政・キャッシュフローの概況	_____	P3
4. 店舗展開の状況	_____	P4
5. 2014年3月期第2四半期（累計） の業績について	_____	P5
6. 2014年3月期の業績予想	_____	P5

## 1. 連結対象企業の事業内容

○連結子会社の対象範囲は6社であります。

[連結子会社]

名称	住所	資本金又は 出資金	事業の内容	議決権の 所有割合 (%)
株式会社ディー・ディー・エー	名古屋市	200,000千円	飲食店の経営 フランチャイズ店舗への 材料提供及び経営指導	100.0
株式会社サガミサービス	名古屋市	10,000千円	損害保険及び生命保険の 代理業務 店舗設備のメンテナンス 業務	100.0
株式会社サガミフード	名古屋市	70,000千円	飲食店の経営 輸出入業務	100.0
上海盛賀美餐飲有限公司	中国上海市	260,000千円	飲食店の経営	93.4
Sagami International Co.,Ltd.	Hong Kong	10百万香港 ドル	海外事業の統轄 飲食店の経営	100.0
SINGAPORE SAGAMI PTE. LTD.	Singapore	1百万米ドル	海外事業の統轄 飲食店の経営	100.0

○Sagami International Co.,Ltd. は、更なる東アジア地域での事業拡大、および成長戦略を推し進めていくために、2012年10月22日に設立いたしました。

○株式会社エー・エス・サガミは、2013年4月1日に株式会社サガミフードと社名を変更いたしました。

○SINGAPORE SAGAMI PTE. LTD. は、ASEAN地域での事業拡大、および成長戦略を推し進めていくために、2013年6月3日に設立いたしました。

## 2. 2014年3月期第2四半期（累計）の業績概況

○連結ベースの経営成績

単位：百万円/円

	2013年3月期 第2四半期（累計） （2012年1月21日～ 2012年7月20日）	業績予想 第2四半期（累計） 2013年5月13日 発表	2014年3月期 第2四半期（累計） （2013年4月1日～ 9月30日）	業績予測 差異
売上高	9,152	9,654	9,851	197
営業利益	97	328	328	—
経常利益	112	336	344	8
当期純利益	43	238	317	79
一株あたり 当期純利益	1.79	9.53	12.73	—

※11月7日に業績修正を発表いたしました。当資料は5月13日に発表いたしました業績予想との比較でございます。

○前期との比較について

決算期の変更により、2014年3月期第2四半期（2013年4月1日～2013年9月30日）と2013年3月期第2四半期（2012年1月21日～2012年7月20日）の利益面での比較は、季節的な変動と締日のズレにより比較困難であります。

主力業態『和食麺処サガミ』の同期間の既存店の推移を参考値として以下に記載いたします。

	2012年4月1日 ～9月30日	2013年4月1日 ～9月30日	前年比
売上高	7,574百万円	7,874百万円	103.96%
客数	6,286千人	6,673千人	106.16%

## 3. 財政・キャッシュフローの概況

○連結財政状態

単位 （百万円/％）	2013年3月期 第2四半期 （累計）	2014年3月期 第2四半期 （累計）
総資産	14,368	15,193
純資産	9,346	10,641
自己資本比率	64.9	69.9

○連結キャッシュフローの状況

単位 （百万円）	2013年3月期 第2四半期 （累計）	2014年3月期 第2四半期 （累計）
営業活動によるキャッシュフロー	△195	256
投資活動によるキャッシュフロー	△185	61
財務活動によるキャッシュフロー	△292	△467

○設備投資について

連結設備投資は286百万円（2013年3月期第2四半期累計実績326百万円）となりました。

○減価償却費について

減価償却費は192百万円（2013年3月期第2四半期累計実績177百万円）となりました。

## 4. 店舗展開の状況

	2013年 3月期	2014年3月期 第2四半期			2014年3月期 計画		
	店舗数	出店	閉店	店舗数	出店	閉店	店舗数
サガミ	127	—	—	127	3	—	130
どんどん庵	47	—	2	45	4	4	47
あいそ家	12	1	—	13	2	2	12
製麺大学	4	—	—	4	—	—	4
盛賀美	3	—	—	3	—	—	3
上海盛賀美	4	—	—	4	1	—	5
サガミ村	—	2	—	2	2	—	2
その他 国内	10	—	2	8	—	2	8
その他 海外	—	—	—	—	3	—	3
合計	207	3	4	206	15	8	214

○2014年3月期第2四半期の「その他 国内」店舗について

その他8店舗は、さがみ庭御器所店、もんぺとくわ江南店、東名高速上り線新城PA陣屋サガミ、フランチャイジーの丸源ラーメン3店舗・たい焼きのたい夢2店舗であります。

○「その他 海外」店舗について

2014年3月期にはASEAN諸国への出店を3店舗計画しております。

○2014年3月期第2四半期の出店状況について

4月25日にバロー大津店のオープンと同時に、同店舗フードコートに「サガミ村」1号店を出店。

7月25日に「どんどん庵星見ヶ丘店」を「あいそ家Kitchen大山田店」に業態転換。

9月3日にイオンタウン名西店のオープンと同時に、同店舗フードコートに「サガミ村」2号店を出店。「サガミ村」はショッピングセンター内を中心に展開する業態であります。

○2014年3月期の閉店状況について

4月に「どんどん庵長喜店」を閉店し、7月に「どんどん庵星見ヶ丘店」を業態転換いたしました。また、7月にはフランチャイジーで経営しておりました「かつや豊川店」、「かつや日進店」の営業権を売却いたしました。

○2014年3月期計画の国内出店数・閉店数について

「和食麺処サガミ」は2008年5月の瑞浪中央店出店以来5年ぶりとなる再出店を計画しております。

「どんどん庵」および「あいそ家」につきましては、リモデル計画であります。

「サガミ村」および「その他 国内」につきましては、上半期にて実行済みであります。

## 5. 2014年3月期第2四半期（累計）の業績について

- 2014年3月期上半期の業績につきましては、決算期変更に伴い前年比較が困難ではありますが、既存店の売上・客数は前述の通り前年同期を上回っております。
- 7月25日～10月15日の期間で、「ざるそば祭り」を実施しております。夏の主力商品である『天ざるそば』をそば食べ放題にしてお値打ち価格でご提供する商品です。CM・チラシ折込の効果もあり、若年層のお客様の利用も増えております。夏休み期間中に長期企画を実施することは上場以来初めての事であり、客数増に大きく貢献した企画となりました。
- 昨年度の1月に「梅森坂店」で実験的に実施したモーニング営業およびモーニングメニューの販売を、本年度4月より中部圏を中心に実施店舗数を拡大しております。メニューは、コーヒー（紅茶・ソフトドリンク）とパン、サラダ、ゆで卵が付いて、299円と非常に安価でご提供しております。コーヒーは基より、パン・卵にも拘り、利益を求めずお客様の層を広げる目的で実施いたしましたが、当初予測を上回るご支持を戴き、殆どの店舗で利益計上できております。年度末までに40店舗以上に拡大したいと考えております。
- 2014年3月期上半期は、第3、第4の柱を育てるべく、ショッピングセンター内への出店にチャレンジいたしました。イオンタウン名西店内の「サガミ村」2号店は、当初予測を大幅に上回る推移であります。

## 6. 2014年3月期の業績予想

○連結ベースの業績予想

単位 (百万円/円)	2013年 3月期 (14ヶ月11日間)	2014年 3月期(予) (12ヶ月)
売上高	22,599	19,400
営業利益	656	635
経常利益	672	650
当期純利益	447	465
一株あたり 当期純利益	18.27	18.62

○単体ベースの業績予想

単位 (百万円/円)	2013年 3月期 (14ヶ月11日間)	2014年 3月期(予) (12ヶ月)
売上高	17,966	16,000
営業利益	617	—
経常利益	624	610
当期純利益	470	440
一株あたり 当期純利益	19.24	17.62

- 9月の秋冬メニュー変更時に、従来のやわらか食「銀扇御膳」に加え、塩分を控えた「かるやか御膳」、タンパク質・カリウム・リンの制限がある方でもお召し上がり戴ける「すこやか御膳」をサガミ全店で販売をいたしております。塩分を気にされるお客様、食事制限のあるお客様もご家族と一緒に来店して戴きたいとの思いから導入いたしました。
- 通期の業績につきましては、5月13日発表の計画から変更いたしておりません。
- 2013年3月期において、主力業態「和食麺処サガミ」の店舗段階利益が全店黒字化いたしました。全社ビジョン“No.1 Noodle Restaurant Company”の実現に向け、既存店の収益力の向上を図りつつ積極的に国内外への出店を進めてまいります。

※業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

## ディスクロージャーポリシー (Disclosure Policy)

### (1) 基本方針

サガミグループは、「食文化を通じて地域社会に奉仕する」「企業を通じてお客様に奉仕する」「『食』と『職』の楽しさを創造する企業」という経営理念のもと、すべてのステークホルダーに対し、透明性、公平性、継続性を基本に証券取引法及び上場取引所の定める法令・規則を遵守し、タイムリーな情報提供に努めます。

### (2) 情報開示の方法

東京証券取引所が定める適時開示規則に該当する情報の開示は、同取引所へ事前説明後、同取引所の提供する適時開示電子情報システム（TDnet：Timely Disclosure Network）に登録し提供しています。TDnet 公開後、すみやかに報道機関に同一情報を提供するとともに、当社ホームページへも掲載いたします。ただしシステムの都合上、これら情報の当社ホームページへの掲載が遅れることもあります。

また、適時開示規則に該当しないその他の情報につきましても、適時開示の趣旨を踏まえて適切な方法により正確かつ公平に開示する方針です。

### (3) 業績予想および将来の見通しについて

サガミグループの計画・将来の見通し・戦略などのうち、過去または現在の事実に関する以外は、将来の業績に関する計画や見通しであり、これらは現時点で入手可能な情報による判断に基づいております。

したがって、将来の業績等につきましては、様々なリスクや不確定要素の変動および経済情勢の変化などにより異なる場合があります。

### (4) 沈黙期間について

サガミグループは決算情報の漏洩を防ぎ、公平性を確保するため、決算発表日の一ヶ月間前の一定期間を「沈黙期間」としております。この期間は、決算に関する質問への回答やコメント、IR活動を控えることとしております。ただし、この沈黙期間中に業績予想を大きく変動する見込みが発生した場合には、開示規則に従い適宜公表いたします。

なお、沈黙期間であっても、すでに公表されている情報に関する範囲のご質問等につきましては対応いたします。

### (5) ディスクロージャーポリシーの遵守

サガミグループは、「企業の社会的責任（CSR）」の観点からもグループの役職員全員に上記のディスクロージャーポリシーを周知徹底し遵守します。